

東部管内青年部・西部酪酪会交流会

六月十八日 たかみや湯の森(安芸高田市高宮町)

青年部結束・情報交換で交流



東部管内青年部(部長 山本雅陳)と西部酪酪会(会長 砂子拓也)は三回目となる交流会を開催し、東部十名、西部十二名、全酪連一名、広酪職員三名の二十六名の参加があり盛大に賑わった。

始めに西部酪酪会の砂子会長から「今年で三回目となるが、和気藹々と楽しましよう」と歓迎の挨拶を述べ、東部の山本部長は「西部地域に誘って頂いたことに感謝します」と応じた。

乾杯後には、初めての参加者や一年振りの参加者もあり、簡単な自己紹介が行われ、酪農に関わることや日頃の出来事など情報交換が積極的に行われ、和気藹々楽しいひと時を過ごされていた。

最後に内海利彦氏より「随分と交流が深まってきたと思う、大変うれしい。今後も一緒に頑張っていきましょう」との言葉で締め、名残を惜しみながら交流会は閉会した。

西部地域組合員連絡協議会

六月十九日 J A 広島市伴支店

情報を共有してともに頑張ろう



西部地域組合員連絡協議会(会長 岡崎博昭)は通常総会を開催し、十二名が出席した。岡崎会長は挨拶で「これから酪農情勢も厳しい状況が予想されるが、会員相互が情報を共有し頑張ろう」と挨拶された。

上程された「平成二十五年度活動報告・収支決算」、「平成二十六年度事業計画(案)・収支予算(案)」は何れも承認された。

その後、西中晃参事(広酪)から地区懇談会の資料を基に広酪の事業説明が行われ、会員からは「預託発送前の牛B L V 検査で陰性であったが、帰着後の検査で抗体陽性判定となった。今後の対応を検討頂きたい」、「イベント等で牛乳を配布し普及拡大してはどうか」、「小学校へ分売した子牛の可愛らしい様子等を撮影したものを見せて、小さい頃から酪農への興味を持たせれば、大人になっても牛乳を飲んでくれるのではないか」等の貴重な意見が飛び交った。

総会終了後、六月二十四日の広酪通常総会の終結をもって広酪の理事を退任された隅屋寒三氏の慰労会が行われ、永年のご尽力に感謝の言葉が添えられた。